

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

新発田市教育委員会

1 平均正答率

	小 学 校		中 学 校	
	国語	算数	国語	数学
新 発 田 市	64	69	65	54
新 潟 県	64	69	65	56
全 国	64.7	70.2	64.6	57.2
県平均との差	0	0	0	-2
全国平均との差	-0.7	-1.2	0.4	-3.2

(1) 小・中学校の傾向

【小学校】 国語、算数の平均正答率は、県平均と比較して同等で、全国平均と比較して下回っている。

【中学校】 国語の平均正答率は、県平均と比較して同等で、全国平均と比較して上回っている。

数学の平均正答率は、県平均と比較して下回っており、全国平均と比較しても下回っている。

(2) 校種別平均正答率

① 小学校では国語、算数の平均正答率の合計で、5割の学校が全国平均以上または、同等であった。一昨年度は、全国平均以上または同等の学校数が約7割であったので、比較すると平均正答率が全国平均以上または同等である学校数は減少している。

② 中学校では国語、数学の平均正答率の合計で、6割の学校が全国平均以上または、同等であった。一昨年度は、全国平均以上または、同等の学校数が約5割であったので、比較すると平均正答率が全国平均以上または同等である学校数は増加している。

2 各設問に見られる傾向

(1) 全国平均と同等又は、上回った設問数

	小 学 校		中 学 校	
	国語	算数	国語	数学
総 設 問 数	14	16	14	16
全国平均と同等又は上回った設問数	6	8	10	2

(2) 小学校の結果

【国語】

① 国語は、全国平均を大きく下回る(−5ポイント以下)設問は2問であった。一昨年度は、一問を除いたすべての設問が、全国平均と同等であった。今年度は、全国平均と同等または上回った設問数が半数以下となっており、学習内容の定着度は低下していると捉えている。

② 国語で全国平均を大きく下回る設問は、「文章の下書きについて漢字を使って書き直す問題(つみ重ね)」で、−6.8ポイント(全国正答率54.4% 市正答率47.6%)
「文章の下書きについて漢字を使って書き直す問題(げんいん)」で、−8.5ポイント

(全国正答率 79.0% 市正答率 70.5%) であった。

正答率が 60%を下回った問題は 4 問で、2 問は全国平均を超えているが、全国平均を下回った「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」記述式の問題(全国正答率 29.7% 市正答率 25.4%)「文の中における修飾語と被修飾語との関係を考える」選択式の問題(全国正答率 43.6% 市正答率 39.9%)の 2 問は、特に課題である。

【算数】

- ① 算数は、一昨年度と同様に全国平均を大きく下回る問題はないが、全国平均と同等又は上回った設問数は半数で、一昨年度と比べて、学習内容の定着はこれまでと同等と捉えている。
- ② 算数で、正答率 60%を下回った問題は、7 問である。その内、正答率 50%を下回ったのが、「二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く」問題(全国正答率 46.0% 市正答率 42.1%)「30mを 1 としたときに、12mが 0.4 にあたるわけを書く」問題(全国正答率 51.5% 市正答率 49.3%)、「除法の計算が何m分の代金を求めているかを選ぶ」問題(全国正答率 47.0% 市正答率 48.3%)である。

(3) 中学校の結果

【国語】

- ① 国語は、全国平均を大きく下回る設問はなく、全国平均と同等又は上回った設問数が 7 割を超えており、一昨年度に比べて学習内容の定着が上昇していると捉えている。
- ② 正答率 60%を下回った設問は、4 問で、2 問は全国平均を超えているが、全国平均を下回った「意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する」選択式の設問(全国正答率 24.8% 市正答率 21.8%)「呼吸をのみこんだの意味として適切なものを選択する」選択式の設問(全国正答率 43.7% 市正答率 41.9%)の 2 問は、特に課題である。

しかしながら、一昨年度、課題であった無答率は、全国平均を 1 ポイント以上下回る設問がなく、大きく改善されたと言える。

【数学】

- ① 数学は、全国平均を大きく下回る問題が 5 問あり、全国平均と同等又は上回った設問数も 2 問のみで、一昨年度と比べて学習内容の定着が低下していると捉えている。
- ② 数学で、正答率 60%を下回った問題は、9 問である。その中で、全国平均を 7~8 ポイント程度下回ったのが、「数量の関係を一元一次方程式で表す」基本問題(全国正答率 71.3% 市正答率 62.7%)「四角形で 4 つの数を囲むとき、四角で囲んだ 4 つの数の和がどの位置にある 2 つの数の和の 2 倍であることを説明する」記述式の問題(全国正答率 30.3% 市正答率 22.9%)「四角形 ABCD が平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する」記述式の問題(全国正答率 44.3% 市正答率 37.1%)であった。

3 結果からの考察

小学校では昨年度、中学校では今年度より学習指導要領が全面実施となった。学習指導要領解説に拠れば、資質・能力を育成していくためには、学習過程の果たす役割が極めて重要である。

平成 28 年 12 月 21 日の中央教育審議会答申で、国語においては、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」のいずれの学習過程においても、「情報を編集・操作する力」、「新しい情報を、既にもっている知識や経験、感情に統合し構造化する力」、「新しい問いや仮説を立てるなど、既にもっている考えの構造を転換する力」を働かせ、考えを形成し深めることが特に重要であると述べている。

算数、数学においては、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決し、解決過程を振り返って概念を形成したり体系化したりする過程」といった算数・数学の問題発見・解決の過程が示されている。

これらを踏まえ、既に、市教育委員会教育センターでは、今年度より、従来の学校訪問を大きく変更し、年 1 回、代表授業者の授業を通して研修する訪問から、年 2 回、一人一人の先生方の授業を指導主事が訪問する授業力向上計画訪問へと舵を切っており、訪問の重点目標として、「指導と評価の一体化」と単元デザインの重要性を挙げている。

さらに、導入済みの一人一台端末に 3 月末までのトライアルで導入した、A I 学習教材の利活用で、9 月以降の授業づくり、家庭学習の改善に取り組んでいく。

今後、正答率の低かった設問の底上げをしていくことは極めて大切だが、数値を上げるために躍起になるのではなく、わからない子たちがいるという事実を受け止め、改善につなげていくことが大切である。基礎的な部分が落ち込むと、ドリル学習に力を入れた指導が多くなることが予想されるが、そうならないように、「主体的・対話的で深い学び」をつくる授業を進めていくことが、結果、子どもたちの学力を高めることにつながるということを共通理解していく。

10 月より、後期授業力計画訪問がはじまるが、学校、授業者に寄り添う市教育センターとして、学校、授業者と共に、子どもの思考が働く、子どもが主体の授業づくりをめざし、確かな学力を育んでいく。

4 新発田市学校教育の指針に係る質問紙調査の結果について

児童生徒質問紙項目（一部抜粋）			新発田市	新潟県	全国	
(1) 挑戦心 達成感 規範意識 自己有用感等	自分には良いところがあると思いますか。（肯定的評価）	小	79.9	79.9	76.9	
		中	81.0	78.6	76.2	
	将来の夢や目標を持っていますか。（肯定的評価）	小	82.5	80.9	80.3	
		中	76.2	69.6	68.6	
	学校に行くのは楽しいと思いますか。（肯定的評価）	小	85.4	86.1	83.4	
		中	84.0	83.7	81.1	
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。（肯定的評価）	小	99.0	97.9	96.8	
		中	97.7	97.0	95.9	
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。（肯定的評価）	小	97.7	97.0	95.5	
		中	97.3	96.3	95.0	
	友達と協力するのは楽しいと思いますか。（肯定的評価）	小	95.2	95.6	93.9	
		中	95.6	95.0	93.3	
	(2) 国語 数学 に対する興味 関心や授業理解度 総合的な学習の時間 学級活動 特別の教科 道徳	国語の勉強は好きですか。（肯定的評価）	小	60.0	63.4	58.4
			中	68.1	62.3	60.8
国語の授業の内容はよく分かりますか。（肯定的評価）		小	88.5	89.1	84.2	
		中	85.1	83.2	80.1	
算数（数学）の勉強は好きですか。（肯定的評価）		小	64.3	67.0	67.8	
		中	61.4	59.6	59.1	
算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。（肯定的評価）		小	87.5	86.9	84.6	
		中	78.1	76.7	74.6	
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。（肯定的評価）		小	90.7	88.7	81.1	
		中	91.4	92.4	86.2	
総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいますか。（肯定的評価）		小	74.5	78.6	73.0	
		中	82.5	84.0	70.2g	
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。（肯定的評価）		小	77.7	81.1	73.4	
		中	82.3	83.3	73.9	
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。（肯定的評価）	小	79.2	81.7	73.5		
	中	80.8	79.3	69.8		
(3)	小学5年生（中学1、2年生）の時に受けた授業	小	81.7	84.5	78.2	

主体的 対話的 で深い 学びの 視点か らの 授業 改善	では課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。(肯定的評価)	中	86.6	86.2	81.0
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。(肯定的評価)	小	85.0	84.9	78.8
		中	86.7	83.8	77.8
	学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができていますか。(肯定的評価)	小	81.9	83.7	78.3
		中	81.9	79.5	74.6
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか。(肯定的評価) ※()内は当てはまると答えた割合	小	97.8 (69.7)	96.9 (67.5)	95.5 (62.2)	
中	97.3 (76.9)	97.5 (72.3)	96.5 (67.1)		
(4) 学習 習慣 学習 環境	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(肯定的評価)	小	82.1	80.7	74.0
		中	68.1	64.2	63.5
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらい勉強していますか。1時間以上3時間より少ないと回答した割合 ※()内は30分より少ない～全くしない割合	小	70.7 (5.3)	68.0 (5.3)	50.9 (13.0)
		中	71.8 (6.6)	68.5 (9.5)	63.6 (9.9)
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)10分以上読書をしていると回答した割合 ※()内は全くしないと回答した割合	小	51.4 (32.6)	56.2 (28.0)	61.2 (24.0)
		中	50.1 (36.8)	50.8 (37.2)	50.1 (37.4)
(5) 基本的 生活習 慣 等	朝食を毎日食べていますか。(肯定的評価)	小	94.8	96.4	94.9
		中	94.0	94.7	92.8
	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。(肯定的評価)	小	65.8	67.3	70.1
		中	59.3	64.3	67.9
	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしていますか。2時間以上4時間より少ないと回答した割合 ※()内は4時間以上と回答した割合	小	46.9 (15.2)	42 (13.3)	33.9 (15.5)
		中	48.7 (12.5)	45 (12.1)	40.3 (16.7)
(6) 地域 社会に 関わる 活動	今、住んでいる地域の行事に参加していますか。(肯定的評価)	小	73.2	76.9	58.1
		中	51.6	54.7	43.7
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。(肯定的評価)	小	59.5	56.9	52.4
		中	50.8	50.6	43.8
(7) 新型ウ イルス 感染症 の影響	新型ウイルス感染症の感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。(肯定的評価)	小	58.5	55.1	55.2
		中	59.5	56.4	62.8
	新型ウイルス感染症の感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。(肯定的評価)	小	67.7	68.1	64.6
		中	42.2	40.6	37.6
	新型ウイルス感染症の感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。(肯定的評価)	小	62.8	67.1	63.1
		中	53.0	54.1	48.4

(1) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

「自分には良いところがあると思う」と回答した小学生は、県平均と同等で、全国平均より高い。一昨年度は、県平均より2ポイント高かったので、比較すると下がっている。中学生は、県平均、全国平均より高く、一昨年度の傾向と変わらない。

「将来の夢や目標をもっている」と回答した小学生、中学生は、県平均、全国平均より高く、一昨年度の傾向と変わらない。

「学校に行くのは楽しい」と回答した小学生は、県平均より低く、全国平均より高い。一昨年度は、県平均よりも0.7ポイント高かったので、比較すると下がっている。中学生は、県平均、全国平均より高く、一昨年度の傾向と変わらない。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と回答した小学生、中学生は、県平均、全国平均より高い。

人権教育、同和教育、道徳教育の取組、CAPプログラムの実施の成果が出ていると捉えている。

(2) 国語、数学に対する興味、関心や授業理解度

総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳

「国語の勉強は好き」と回答した小学生は、県平均より低く、全国平均より高い。一昨年度は、県平均より1.2ポイント高かったので、比較すると下がっている。中学生は、県平均、全国平均より高く、一昨年度は、県平均、全国平均より低かったので、比較すると上昇しており、大きな改善が見られる。

「国語の授業内容は分かる」と回答した小学生は、県平均より低く、全国平均より高い。一昨年度は、県平均と同等で、全国平均より高いので、比較すると下がっている。中学生は、県平均、全国平均より高く、一昨年度は、県平均より低く、全国平均より高かったので、比較すると上昇しており、改善が見られる。

「算数・数学の勉強は好き」と回答した小学生は、県平均、全国平均より低い。一昨年度は、県平均、全国平均より高かったので、比較すると下がっている。中学生は、県平均、全国平均より高く、一昨年度の傾向と変わらない。

「算数・数学の授業内容は分かる」と回答した小学生、中学生は、県平均、全国平均より高く、一昨年度の傾向と変わらない。

「道徳で話し合う活動に取り組んでいる」「総合的な学習で自分で課題を立てて調べて発表する等の活動に取り組んでいる」「学級会で話し合い解決方法を決めている」「学級での話し合いを生かして自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」と回答した小学生、中学生は、県平均より低く、全国平均より高い傾向にある。

学校質問紙とのクロス集計から、次のような学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。

- ・国語、算数・数学の指導において、発展的な学習の指導を行った学校

児童生徒質問紙とのクロス集計から、次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。

- ・「総合的な学習で自分で課題を立てて調べて発表する等の活動に取り組んでいる」児童総合的な学習の時間において、探究の課程を大事に、活動に取り組むことが重要である。

(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていた」「友達の話や意見を最後まで聞くことができていた」と回答した小学生、中学生は、県平均、全国平均より高いが、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができていた」と回答した小学生は、県平均よりも低く、全国平均より高い。

児童生徒質問紙とのクロス集計から、次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。

- ・「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」児童生徒
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができていた」児童生徒
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていた」児童

(4) 学習習慣、学習環境

「家で自分で計画を立てて勉強している」「1日当たり1～3時間学習している」と回答した小学生、中学生は、県平均、全国平均より高い。

「1日当たり10分以上読書をしている」と回答した小学生は、県平均より低く、全国平均からは約10ポイント低い。また、全くしないと回答した小学生、中学生が3割強いる。

(5) 基本的な生活習慣等

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と回答した小学生、中学生は、県平均、全国平均より低い。

「1日当たり4時間以上ゲームをする」と回答した小学生が、全国平均と同等の15%程度いる。

(6) 地域社会に関わる活動

「住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学生、中学生は、全国平均より高いが、県平均よりは低い。一昨年度の傾向と同様である。「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した小学生、中学生は、県平均、全国平均より高い。一昨年度と比較すると、県平均より2.2ポイント低かったので中学生の上昇が見られる。

しばたの心継承プロジェクト事業への取組が効果的に働いていると捉えている。

(7) 新型コロナウイルス感染症の影響

「休校中、勉強について不安を感じた」と回答した小学生は、県平均、全国平均より高く、「休校中、規則正しい生活を送っていた」と回答した小学生は、県平均、全国平均より低かった。小学生に、新型コロナウイルス感染症の影響が出ていると考えられる。

「休校中、計画的に学習を続けることができた」と回答した中学生は、県平均、全国平均より高く、「休校中、規則正しい生活を送っていた」と回答した小学生は、県平均、全国平均より高かった。中学生は、新型コロナウイルス感染症の影響をさほど受けていないと考えられる。